

## 1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために、多様な考えをもつ子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「生き抜く力」を身に付けさせる学校</li> <li>○豊かな心を醸成できる学校</li> <li>○確かな学力を身に付けられる学校</li> <li>○強く健やかな心と身体が育つ学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎思いやりの気持ちをもち、人権を尊重し合える児童</li> <li>○目標やめあての達成をめざして、主体的に取組を続ける児童</li> <li>○人や社会に迷惑や不快感を与えず、規範意識をもって行動する児童</li> <li>○基礎的、基本的な学力を身に付けた児童</li> <li>○進んで運動に親しみ、心身を鍛える健康な児童</li> </ul>
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育に対して、熱意をもち謙虚な姿勢で学び続ける教師</li> <li>○児童に対して、笑顔で愛あふれる教師</li> <li>○自己に対して、向上心をもって職責を果たす教師</li> </ul>

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### 1 学校の現状

令和6年度 児童数 270名 12学級 創立91周年の伝統校である。

【児童】思いやりがあり、素直で従順な児童が多く、学習や諸活動においては真面目に取り組む。落ち着いた態度で学校生活を送っている。運動会や文化的行事等では、目標に向かって努力や協力することで達成感や満足感を味わい、自己肯定感を少しずつ高めている。区学力調査の通過率は、目標の82%以上を上回り87.1%という結果であった。

【教職員】学校長の経営方針を受け、教職員は教育実践に前向きに取り組んでおり、組織内の役割を的確に果たそうと努力している。また、小中連携・授業力向上研修・年次研修・区内外他校研究発表・校内OJT・教科指導専門員の指導などにより研修を積んでいる。

【保護者、地域】親子四代、三代の卒業生の家庭が多く、保護者・地域とも学校に協力的である。保護者・地域・開かれた学校づくり協議会の方々との連携事業を継続するとともに質の向上を図っている。また学力向上や様々な取組に対し、本校の成果を評価し期待度も高い。

### 2 前年度の成果と課題

#### 重点的な取組事項－1 学力向上(基礎的・基本的事項の定着 思考力・判断力・表現力の育成)

- 数値目標 令和5年4月実施 区学力調査結果 2教科平均通過率：82%以上
- 実施結果 令和5年4月結果 2教科平均通過率：87.1%（国語88.6%・算数85.6%）

通過率は、目標の82%を上回ることができた。これは、学力向上の取組であるAIドリルを活用した朝学習、授業、放課後補習、夏季学習教室、家庭学習や校長に指名された教員による示範授業を通じた研修、また算数の授業における1年生からの少人数指導や3年生からの習熟度別指導の成果であると考えられる。学習意識は、全項目で区平均を下回っているため、児童が主体的に学び続ける姿勢・態度が育っていけば、さらに学力も伸びてくると期待できる。児童が目標や目的を意識し、自ら問題解決に向かっていく姿勢が身につくように、教師が授業改善を図っていくことが課題である。

### 重点的な取組事項－2 教師の授業力向上(小・中連携、校内OJT、巡回指導等)

- 数値目標：授業力向上研修、小中連携合同研究会、校内OJT、区内外他校研究授業、足立スタンダードによる授業力向上  
教員評価「授業力向上の実感」80%以上 児童アンケート「授業が分かりやすい」90%以上
- 実施結果：教員評価「授業力向上の実感」90.2% 児童アンケート「授業が分かりやすい」81.9%  
小中連携（梅一・島根・十中）合同研究会を7回実施した。他校の教員と互いに授業を参観し合い、進め方や手立て等を意見交換し合うことで授業力向上につながった。  
校内OJTは、年間20回実施した。先輩教員が若手教員に学習指導や生活指導、行事運営、校務分掌の進め方等を指導・助言したり、教員が相互に学び合ったりして、指導力を高め合う雰囲気が醸成された。  
教科指導専門員による巡回指導は、若手教員や転入したばかりの教員を中心に行った。どの教員も足立スタンダードに基づいた授業が定着するように授業改善を図った。

### 重点的な取組事項－3 心身の健康推進(保護者・地域等との連携)

- 数値目標：基本的生活習慣の定着 いじめの早期発見と適切な対応 不登校対応 事故の未然防止 達成率80%以上
- 実施結果：概ね良好  
生活面の児童アンケートでは、「挨拶」75.2%「言葉遣い」67.4%「早寝、早起き、朝ごはん」77.5%の肯定的評価であった。また、体育では、88.0%の児童が「授業に楽しく取り組めた」と答え、70.9%の児童が体力の向上を実感していた。特に投力では、講師を招聘しての「投げ方教室」を行い、児童はもちろん教員にとっても有意義な研修となった。また、体力調査に向けて体育主任を講師として、指導者講習会を行った。そこで得た指導技術を基に、各担任が跳躍力や柔軟性などを高めるための体育授業を実施した。結果として、学校全体として辛うじてだが、都平均、区平均を上回った。  
「いじめの早期発見と適切な対応、不登校の対応や見逃しゼロへの取り組み」は、教員評価で「よくできた・できた」が達成率94%であった。また、学校事故の未然防止に向けて児童への安全指導、教員による安全点検を毎月実施した。  
保護者・地域との連携では、計画していた学校行事や学校公開を予定通り実施した。特に創立90周年記念行事の取組は、実行委員会の皆様をはじめ、多くの卒業生から御協力を得て、たいへん実りある式典、祝賀会を開催することができた。また運動会や音楽会についても90周年を祝う意義を理解して、子供たちが意欲的に取り組み、愛校心や地域への愛着を一層深めることができた。  
開かれた学校づくり協議会の活動として、芝生グリーンプロジェクト、親子ふれあい華道教室、親子盆踊り体験、芝の上の映画会、漢字検定チャレンジ教室等を実施し、子供たちにとって豊かな体験活動ができた。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○

2	教師の授業力向上（小中連携研究会、授業力向上研修、校内OJT、巡回指導等）	○	○	○	○
3	心身の健康推進（保護者・地域等との連携）	○	○	○	○

## 5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上 (知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力)</li> </ul>		学力調査 85% 学力年度末 80%	学力調査 83.9% 学力年度末 77.1%		区学力調査では、目標通過率に届かなかったが、算数科の習熟度別授業の在り方を見直し、児童に主体的な学習態度が定着すれば、学力は向上していくと考える。				○
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	朝学習 チャレンジ	全学年 国語・算数	週4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員</li> <li>・読書カードを活用して児童一人月平均5冊以上の推進</li> <li>・漢字練習</li> <li>・AIドリルを活用して、算数の苦手な問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書カード</li> <li>・ミニ漢字テスト</li> <li>・問題の正答率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年に応じた目標冊数読破</li> <li>・全問正解(間違いは直せば正答とする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習ではAIドリルに取り組む機会が増え、月の平均解答数は350まで上がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書量は依然として伸びないので、図書館支援員と連携して本の紹介や読み聞かせ等、さらに推進していく。</li> </ul>	○
2 継続	AIドリルを活用した放課後補習教室	個別指導を要する児童 算数	放課後、平均月1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員</li> <li>・単元の学習内容の定着を図るため、AIドリルを活用して苦手な問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間内に行う問題の正答率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全問正解(間違いは直せば正答とする)</li> </ul>	1月末までに10回実施した。目標はおおむねクリアできた。	AIドリルの活用をさらに推進し、個別のつまずきの解消につなげていく。	○
3 継続	AIドリルを活用した夏季学習教室	個別指導を要する児童 算数	夏季休業中の10日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員</li> <li>・AIドリルを活用し苦手な問題に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間内に行う問題の正答率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全問正解(間違いは直せば正答とする)</li> </ul>	夏季学習教室を10日間実施し、目標はおおむねクリアできた。	AIドリルを積極的に活用する児童が増え、成果として表れている。	○

4 継続	話し合い活動の充実	全児童 各教科 ・領域	通年	・全教員 ・話し合い活動により自分の考えを深める。	・授業中の観察や児童のノート等から見取り	・教員自己評価「考えが深まった児童」80%以上	教員自己評価の肯定的評価 86% 児童意識調査「話し合いによる学び」76%	児童が主体的・対話的に学習を進める授業展開に重点を置き授業改善を図る。	○
5 継続	思考力・判断力・表現力の向上	全児童 教育活動全般	通年	・全教員 ・知識・技能の活用を図る学習活動 ・自分の考えを書く活動 ・文章を要約する活動	・児童のワークテスト結果 ・授業中の観察や児童の作品・ノート、発表等から見取り	・ワークテストの結果 80%以上 ・教員自己評価「思考力・判断力・表現力の達成率」80%以上	教員自己評価の肯定的評価 92%	基本的な授業の進め方として、足立スタンダードを徹底していく	◎
6 継続	I C T機器の活用	全児童 各教科 ・領域	通年	・全教員 ・I C T機器の活用方法についての研修会を行う。	・I C T機器を授業で効果的に活用する。	・教員自己評価「タブレット、AIドリル等の効果的な活用」80%以上	教員自己評価の肯定的評価 73%	教員によって差はあるが、全体的に I C T機器を積極的に活用し、効果的な授業展開に努めている。	○
7 継続	家庭学習（自主学习を含む）	全児童 国語 算数等	毎日	・担任 ・家庭学習習慣をつけ、宿題未提出児童はその日のうちに学校でやり遂げさせる。	・日々の提出点検 ・児童アンケート	・教員自己評価 ・児童アンケート「家庭学習習慣」80%以上	家庭学習習慣 児童意識調査 71% 教員肯定的評価 92%	家庭学習習慣を定着させるため、引き続き保護者に協力を求める。	○

<b>重点的な取組事項－2</b>		教師の授業力向上（授業力向上研修。小中連携合同研修会、校内OJT、区内外研究発表参観、巡回指導等）			
<b>A 今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>
・教師の授業力向上 （授業力向上研修、十中・島根小との連携推進、校内OJT、巡回指導等）		・教員自己評価「授業力向上研修、小中連携合同研究会、校内OJT・区内外研究会、教科指導専門員の指導等による授業力向上」80%以上	教員自己評価の肯定的評価 95%	主体的な学習態度が育つようさらに授業力向上を図っていく。	◎
<b>B 目標実現に向けた取組み</b>					
<b>項目</b>	<b>達成基準</b>	<b>具体的な方策</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>

授業力向上研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「校内研修による授業力向上」80%以上</li> <li>・「足立スタンダードによる授業」90%以上</li> <li>・児童アンケート「授業が分かりやすい」80%以上 「先生に質問しやすい」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主任教諭による国語、社会の示範授業及び協議会</li> <li>・発問、板書等の工夫、ICT機器の活用</li> <li>・足立スタンダードの徹底</li> <li>・学習規律の徹底</li> <li>・授業観察</li> <li>・教科指導専門員の指導等</li> <li>・校内OJT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員肯定的評価「校内研修による授業力向上」100% 「足立スタンダードによる授業」100% 「小中連携合同研究会」94% 「校内OJT」92% 「区小研・区内外研修」94%</li> <li>・児童意識調査「授業が分かりやすい」90%</li> </ul>	校長が指名した主任教諭2名による示範授業は、若手教員の日頃の悩みや質問に対し、解決策や改善に導くことができた。	◎
小中連携合同研究会の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間7回の3校合同研究会</li> <li>・教員自己評価「小中連携による授業力の向上」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間7回の合同研究会</li> <li>・十中教員による児童の勉共会実施</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「小中連携による授業力向上」94%	毎年同じ教員が研究授業をすることにならないように、分科会の中で研究教科を変えていく。	◎
校内OJT「若梅塾」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職層、校務分掌に応じてベテラン、中堅教員による「若梅塾」の実施</li> <li>・教員自己評価「校内OJTによる指導力の向上」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間13回、管理職、主幹、主任教諭を講師役として、若手教員の要望に応じたテーマに沿ってミニ研修会、アレルギー対応、体力向上等の各種研修会の実施</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「校内OJT若梅塾による指導力向上」92%	若手教員に年度始にアンケートを取り、その要望に応じてミニ研修会を実施し、即効性のある指導に生かすことができた。	◎
区内外の研究会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内外の研究会参加各教員2回以上</li> <li>・教員自己評価「区小研及び区内外研究発表会参加による授業改善の成果」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区小研参加</li> <li>・区内外の研究会参加</li> <li>・各種研修会参加</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「区小研や区内外の研究発表等の参加による授業力向上の効果」94%	区小研には、毎回全教員が参加した。それ以外の各種研修会にも積極的に参加した。	◎

<b>重点的な取組事項－3</b>		心身の健康推進（保護者・地域等との連携）			
<b>A 今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>	<b>実施結果</b>	<b>コメント・課題</b>	<b>達成度</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域と連携し、健康で明るく生活できる児童の育成</li> <li>・健康教育・安全教育の推進を図り、安心・安全な学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「いじめ未然防止、初期対応」「不登校対応」90%以上</li> <li>「体力調査結果からの取組」</li> <li>・児童アンケート「基本的生活習慣」80%以上</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「いじめの未然防止、早期発見と適切な対応、不登校対応」100%	いじめは未然防止を第一に早期発見・対応、不登校は孤立させない取組を継続していく。	◎	

B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「児童が道徳的価値について考えをもてる授業」80%以上</li> <li>・児童アンケート「道徳の授業で自分の考えをもつことができる児童」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳科の授業改善</li> <li>・道徳授業地区公開講座</li> <li>・人権標語づくり</li> <li>・ありがとうカード</li> </ul>	<p>教員自己評価の肯定的評価「道徳的価値について話し合い活動を展開する授業」100%</p> <p>児童意識調査「自分の考えをもてた」83%</p>	<p>答えが一つではない課題に児童が道徳的に向き合い考え議論する道徳の授業を展開する。また評価は他の児童との比較ではなく励ます個人内評価をする。</p>	○
学校図書館基本計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価、児童アンケート「1か月平均5冊以上読書」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の年間読破目標設定</li> <li>・読書カード活用</li> <li>・図書館支援員と連携して啓発</li> </ul>	<p>教員自己評価の肯定的評価「1か月平均5冊以上の読書ができている」50%</p>	<p>児童1人の1か月平均の読書は昨年度よりも増えて4冊である。</p>	△
体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「体育授業改善」「体力調査結果を踏まえた取組成果」80%以上</li> <li>・児童アンケート「体育の授業に楽しく取り組めた」「体力調査や学習カード等から記録が伸びた」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上指導者講習</li> <li>・体育授業の改善</li> <li>・ムキムキタイム、チャレンジタイム、梅一サーキット等で握力や持久力、握力、反復横跳びを強化</li> <li>・学習カード活用</li> <li>・業間運動の実施「長縄・短縄」等の取組</li> </ul>	<p>教員自己評価の肯定的評価「体育科の授業改善」92%</p> <p>「体力調査の結果から体力向上の取組」100%</p> <p>児童意識調査「体育の授業に楽しく取り組めた」90%、「体力調査や学習カード等で記録が伸びた」75%</p>	<p>学校全体のTスコアは52で国や都の平均を上回り、昨年度より伸びた。平均以下は、「20mシャトルラン」「反復横跳び」「ソフトボール投げ」なので、強化していく。</p>	○
生活規律の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「挨拶、感謝、礼儀、謝罪、返事の習慣化」「丁寧な言葉遣い」80%以上</li> <li>・児童アンケート「早寝・早起き・朝ご飯」「あいさつ」「丁寧な言葉づかい」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携した生活規律の定着</li> <li>・生活リズムカード活用年間3回</li> <li>・食育の指導</li> <li>・「オアシスハ」の推進</li> <li>・各学年による挨拶運動</li> </ul>	<p>教員自己評価の肯定的評価「挨拶、感謝、礼儀、謝罪、返事の習慣化」「丁寧な言葉遣い」84%</p> <p>児童意識調査「早寝・早起き・朝ご飯」79%、「相手に伝わるあいさつや礼儀」81%、「ていねいな言葉づかい」74%</p>	<p>保護者、地域にも協力を求め、基本的な生活習慣やコミュニケーションの基礎となる対人の接し方を培っていく。</p>	○

安心・安全な学校生活の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「いじめの未然防止、早期発見、初期対応」100%</li> <li>・教員の自己評価「不登校の対応、見逃しゼロへの取り組み」100%</li> <li>・児童アンケート「友達が嫌がることを言わないやらない」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の変化に注視する。</li> <li>・未然防止に努める</li> <li>・アンケートの丁寧な聞き取り</li> <li>・迅速な初期対応</li> <li>・SOSの出し方教室の開催</li> <li>・安全指導の実施</li> <li>・安全点検の実施</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「いじめの未然防止、早期発見と適切な対応、不登校対応」100% 児童意識調査「友達が嫌がることを言わないやらない」83%	いじめ案件は、解消に向かっており、今後も早期発見対応に努める。不登校は孤立させることなく丁寧に対応を続けている。	○
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自己評価「保護者・地域との連携」80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「開かれた学校協議会」との連携事業</li> <li>・地域行事への参加</li> <li>・地域講師の活用</li> </ul>	教員自己評価の肯定的評価「保護者・地域との積極的な連携」100%	親子ふれあい華道教室や芝の上の映画会、親子盆踊り体験、書道教室等を今後も充実させていく。	◎

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### <学力向上アクションプランについて>

- ・足立区学力調査の通過率は、目標の82%を上回り83.9%であった。学習意識調査の肯定的回答の割合は昨年度より全体的に上昇した。その要因は、指示待ち傾向、受け身の学習から、一人一人の児童に具体的な目標をもたせ、主体的・継続的に取り組ませる教育活動を推進してきた成果であると考えられる。しかし、学習意識調査のどの項目もまだ区平均を下回っているため、引き続き主体的、積極的な学習態度が身に付けさせ、さらに学力の向上を図っていく。今後の課題と対策を下記のように考える。

#### 【課題】

- ・学習意識調査の結果は、昨年度より上昇しているにもかかわらず、算数科においては通過率が前年比-6.2ポイントであった。その主たる原因は、算数科の習熟度別少人数授業の在り方である。正規教員が欠員のため時間講師が担っていた。国語科については通過率88.5%で高い水準を保っている。
- ・「宿題がないときでも家で勉強する」と答えている児童は56.8%（前年比+6.9）で上昇したが、区平均よりも-3.6ポイントなので、AIドリルを中心とする家庭学習習慣が身に付くように保護者に協力を呼び掛けていく。
- ・国語科の領域別正答率は、「言葉・情報・言語文化」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で区平均と同程度である。
- ・「1か月に本を2冊以上読む」と答えている児童は52.4%（前年比+0.8）で、区平均よりも-3.1ポイント低い。

#### 【対策】

- ・算数少人数担当がイニシアティブをとって、各学年の教材分析や教材準備をしたり、レディネステストの結果からグループ分けを考えたりして、学年担任との協働体制を整える。
- ・児童にめあてをしっかりと理解させ、主体的に学習する態度が身に付く授業を展開できるよう教師の授業改善を図っていく。特に「足立スタンダード」を徹底し、問題解決学習を習慣づけていく。
- ・授業力向上を目指す校内研究を充実させ、教員同士が授業公開し、互いの授業を参観し合える環境を一層整える。

- ・本校を初任校とする若手教員は、教科指導専門員による授業観察及び事後指導を基本とし、授業力向上を図る。
  - ・AIドリルを授業や朝学習、家庭学習、放課後補習、サマースクール、長期休業中等で活用し、個別最適化の学習を充実させる。
  - ・各教科でICT機器を効果的に活用し、授業改善を図る。
  - ・図書館支援員と担任、専科また委員会活動が連携し、「お勧め本の紹介」「読み聞かせ」「読書記録カード」等の取組を継続的に実施していく。
- (2) 保護者や地域へのメッセージ
- ・コロナ禍の3年間により影響を受けたことは、特に「コミュニケーション能力」の低下です。本校では人と人との良好な関係を築いていく基礎として、「オ（はようございます）・ア（りがとうございます）・シ（つれいします）・ス（みません）・ハ（い）」をモットーに、「挨拶」「感謝」「礼儀」「謝罪」「返事」を言葉や態度で相手にきちんと伝えられる子供たちを育てていくことに重点を置き、これを教育の根幹としています。子供たちの健全育成の基本でもあり、保護者、地域の皆様にも御理解、御協力をお願い申し上げます。人として当たり前のことをまずは大人が範を示していく地域社会の存在が子供たちの将来に大切な影響を与えると考えます。
- (3) その他（学校教育活動全般について）
- ・開かれた学校づくり協議会や保護者の皆様、地域の皆様の御協力のもと、今後も「芝生グリーンプロジェクト」「華道教室」「書道教室」「盆踊り体験」「芝の上の映画会」を実施してまいります。このような様々な体験的活動により子供たちに豊かな心が育まれていますので、引き続き皆様の御協力、御支援をお願い申し上げます。